

たすけあい奨学制度



【発行元】
全国大学生協連学生委員会
学生委員長：高橋 明日香
執筆：上木 太陽



たすけあい奨学制度のつどい2023

概要

参加者

名称：たすけあい奨学制度のつどい2023
日程：2023年11月11日(土)14:00~17:00
場所：Zoom

- 北海道BK事務局 (3) 東北BK事務局 (1) 東京BK事務局 (4) 東海BK事務局 (3)
- 関西北陸BK事務局 (3) 中四BK事務局 (4) 九州BK事務局 (2)
- 北海道教育大 (1) 小樽商科大 (1) 東邦大 (1) 名古屋工業大 (1) 愛知県公立大 (1)
- 名城大 (1) 岐阜大 (1) 富山大 (1) 立命館 (1) 佐賀大 (1)
- 外部団体 (2) コープ共済連 (3) 連合会 (2) 学生常勤 (5) 運営 (4)

合計46名

01 事前動画・受給者アンケートを見て感想交流

声を聞いて、推進を考える

参加者には事前資料として、昨年の「つどい」で話された、たすけあい奨学制度のあゆみに関する動画を見てもらいました。奨学制度が歩んできた歴史を知った上で、受給者のアンケートを読むことで、より制度についての理解や、給付された学生の心の支えとなっていることを知り、深めることができました。

「学業継続を応援したい」という想いに賛同した人々によって、広がってきていることを感じました。今後もより多くの方の学業継続を支援できるように、大学と一緒に寄付も応募も周知していきたいです。

02 大学や会員生協の活動事例報告

活動・取り組みを知る

今回のつどいでは、奨学制度の取り組みとしてAPUスチューデントオフィスの学生に向けた広報の事例と、埼玉大学生協の店舗装飾の取り組みを紹介しました。APUでは大学がこの制度を認知し広げていくことができ、ヘルムのぬいぐるみに興味をもってもらうことで、奨学制度の認知を広げています。埼玉大学生協では総代会のパン試食会から発展し、総代に人気であったパンの売り上げの一部を寄付していただきました。また店舗装飾でたすけあい奨学制度についてつたえ、組合員に広く周知することができました。また、この取り組みはTVニュースにもとりあげられました。

募金箱まで置かなくてもヘルムを置いてみたり、こういう制度ですってというポスターを置いてみたり、話をしてみたり、些細なことでも認知度にはつながる、と思いました。

03 推進を考える

この制度をもっと広げていくために

最後の時間では、参加者同士でたすけあい奨学制度を推進していくためにどのようなことができるかを考えました。たすけあい奨学制度はまだまだ広く認知されておらず、大学生協のもつ「たすけあい」の制度として強く推進していなければなりません。つどいで考えられた推進が会員生協やブロックでこれから行われていくことが期待されます。

総代や理事など組合員の中でも大学生協により深く携わっている方々と話す機会を上手く活用して欲しいです